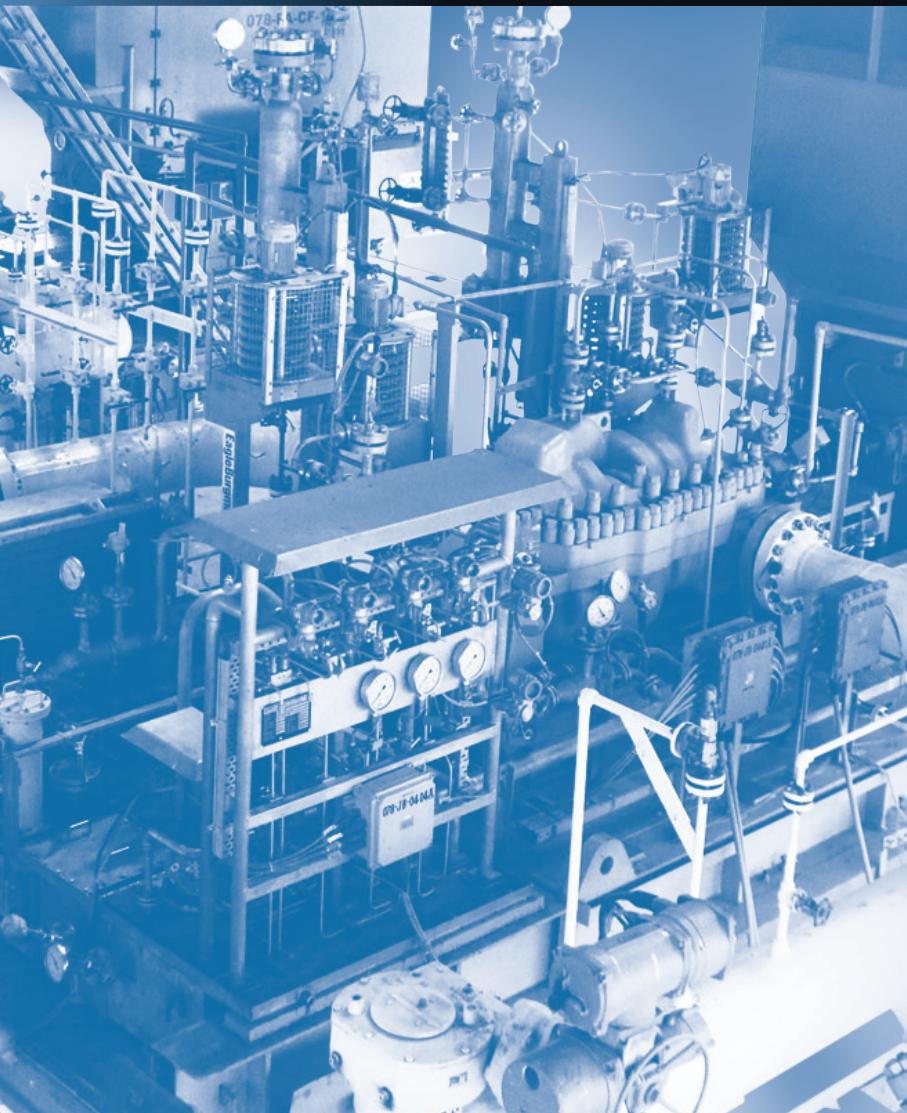


# 第83期 中間報告書

2017年4月1日～2017年9月30日

83rd  
Interim  
Business  
Report  
DMW  
CORPORATION



# Passion for the Next Innovation ~次なる革新への熱い思い~



## ご挨拶

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。ご挨拶申し上げます。

第83期第2四半期連結累計期間の中間報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当社グループは今年度から、新たに策定した「New DMW 中期経営計画2019」の取り組みを開始しました。計画の達成に向け、鋭意取り組んでまいります。

株主の皆様のご期待に沿うべく努力をいたす所存でございますので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

代表取締役社長 土屋 忠博

## 当第2四半期連結累計期間における受注はどのような状況でしたか。

当社グループが属する風水力機械業界に関しては、官公需の受注が好調なことに加えて、海外での受注も増加しており、全体の受注額は前年同期に比べて増加しました。

このような環境下で、当社グループは積極的な営業活動を展開した結果、当第2四半期連結累計期間における受注額は、前年同期に対し112.4%の85億82百万円となりました。

## 業績はいかがでしたか。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期に対し89.2%の54億83百万円を計上しました。また、利益については、前年同期に比べて利益率の良い案件が多かったことなどから、営業損失は2億47百万円（前年同期営業損失2億95百万円）となりました。

その結果、経常損失は1億77百万円（前年同期経常損失2億34百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は1億41百万円（前年同期親会社株主に帰属する四半期純損失1億81百万円）となりました。

なお、当社グループの売上高は、公共事業物件の割

合が高いため連結会計年度末に集中する季節性を有しています。そのため、例年、第2四半期連結累計期間の業績については、相対的に低い水準にとどまっています。

今年度通期の業績については、売上高170億円、営業利益12億5百万円、経常利益13億25百万円、親会社株主に帰属する当期純利益8億90百万円を見込んでいます。

また今年度の中間配当は、当第2四半期連結累計期間の業績を踏まえ、当初予定に対し5円増額し、1株につき30円といたしました。通期では60円（うち期末普通配当金30円）を予定しています。

## 今後の取り組みについてはどのようなものを考えていますか。

「New DMW 中期経営計画2019」では、新たな

スローガン“Passion for the Next Innovation ~次なる革新への熱い思い~”のもと、当社のブランド化を推進するために、次の4テーマを掲げています。

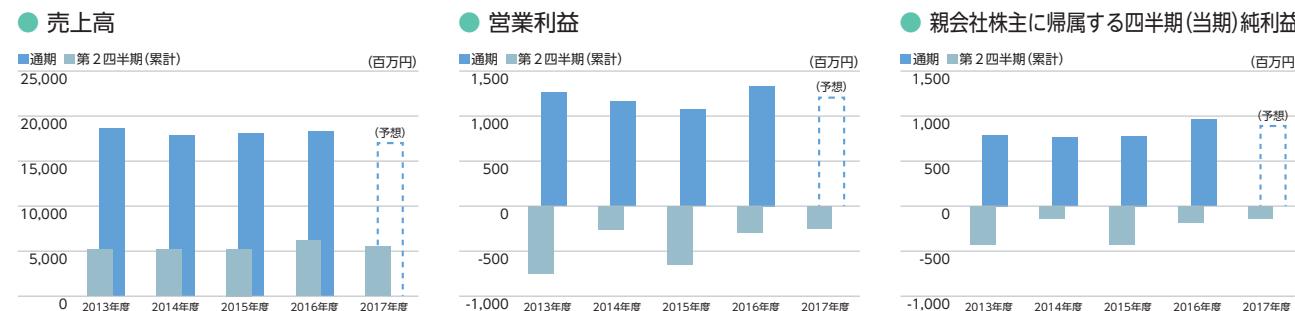
- ①海水淡水化ビジネスの確立
- ②ビルド&スクラップ（組織、製品の充実）
- ③次世代に向けた新たな商品開発
- ④働き方改革

これら重点テーマの達成に向けて、ものづくりに対する熱い思いで次なる変化を起こし、これまで以上に魅力ある企業へ変身することを目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2017年12月

## 連結財務ハイライト



## 当社グループ初の海外生産拠点

# DMWインド社 インド工場完成

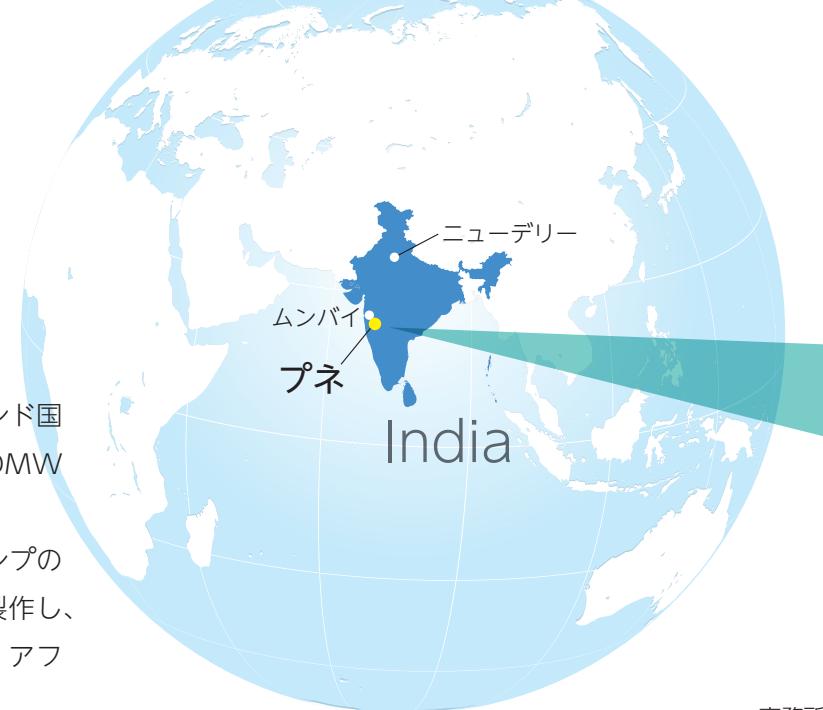
DMWインド社 (DMW CORPORATION INDIA Pvt. Ltd.) のインド工場が2017年7月、プネ市のチャカン工業団地内に完成しました。

世界第2位の人口を誇るインドでは石油精製品や石油化学品の需要が旺盛であり、関連するインフラの整備が積極的に進められています。

当社は1976年以降、GAS&OIL市場を中心に多くのポンプを納入し、その信頼性の高さからマー

ケットに確固たる地位を築いてきました。インド国内での生産開始により競争力をさらに高め、DMWブランドの一層の浸透を目指してまいります。

インド工場では、GAS&OIL市場向けのポンプのみならず、海水淡水化施設用等のポンプを製作し、将来的にはインド国内市場はもとより中東、アフリカ市場向けの供給も視野に入れています。



事務所



工場

インド工場では、材料・部品をインド国内メーカーから調達し、当社のノウハウ・技術力を活かしたものづくりを行っていきます。現在、インド石油ガス開発公社向け原油移送ポンプ等の製作を進めています。

現地生産による価格優位性と当社が培ってきた高品質なものづくりにより、顧客満足度の高い製品を供給していきます。



工場内部

## 海水淡水化ビジネスへの取り組み

### 海水淡水化施設用エネルギー回収装置のプレゼンテーション開催

登録商標:DeROs (DMW's energy Recovery device for Reverse Osmosis system)

当社は、「New DMW中期経営計画2019」の重点テーマの1つに、海水淡水化ビジネスの確立を掲げています。公共インフラ、電力、GAS & OILに次ぐ第4の市場向けの海水淡水化施

設用エネルギー回収装置のプレゼンテーションを8月下旬から9月上旬にかけて、三島事業所で開催いたしました。

エネルギー回収装置と高効率の高圧ポンプの運転状況を大手

プラントメーカーをはじめとしたお客様にご見学いただきました。エネルギー回収装置の日本及び米国における特許取得技術などについて詳細説明を行い、製品の特徴である省エネルギー性能、低騒音、低振動について高い評価をいただきました。

今後も世界最高水準のエネルギー回収効率とポンプ効率を誇る省エネルギー機器として、国内外の海水淡水化施設への納入に向けて邁進してまいります。



高圧ポンプと組み合わせたエネルギー回収装置

### 火力発電所向け循環水ポンプ

現在、国内では数多くの火力発電所の建設計画が進行しており、当社は、9地点の発電所向け循環水ポンプを受注しています。

写真は、国内のLNG（液化天然ガス）火力発電所向けに納入した循環水ポンプです。同ポンプは、発電に使用された高熱蒸気を冷却するために大量の海水を供給する役割を担っています。



循環水ポンプ

### 三島市社会福祉協議会から感謝状を受領

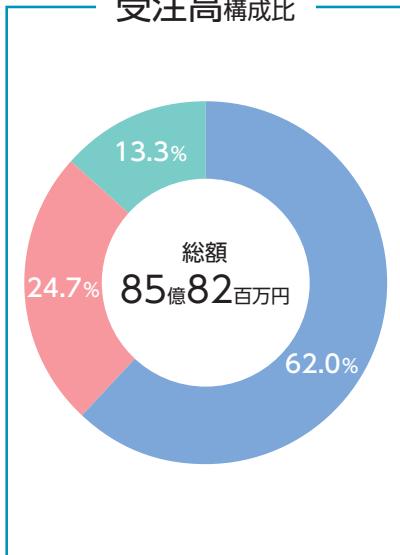
当社は2017年10月、三島市社会福祉協議会から感謝状を受領しました。DMW社会貢献基金が2016年度に行った寄付に対して授与されたものです。

DMW社会貢献基金は、災害による被災者への義援金や地域の社会福祉事業に対する助成金として寄付を行うことを目的としており、役員及び従業員が毎月積立を行っています。

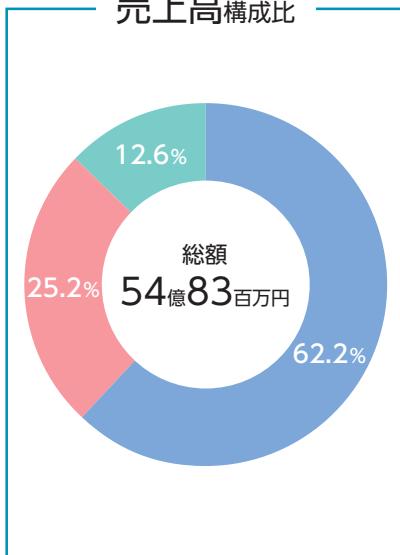
当社は、今後も被災者支援や社会福祉事業活動への助成に取り組んでまいります。



受注高構成比



売上高構成比



官需部門

受注高 53億18百万円  
(前年同期比104.8%)

売上高 34億12百万円  
(前年同期比112.3%)



● 上水道設備向けポンプ

国内民需部門

受注高 21億24百万円  
(前年同期比119.0%)

売上高 13億79百万円  
(前年同期比112.8%)



● 石油化学プラント向け送風機

海外部門

受注高 11億40百万円  
(前年同期比147.4%)

売上高 6億93百万円  
(前年同期比36.8%)



● 石油パイプライン向けポンプ

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当第2四半期末 2017年9月30日現在	前期末 2017年3月31日現在
<b>(資産の部)</b>		
流動資産	15,790	18,986
固定資産	6,413	6,100
有形固定資産	3,486	3,345
無形固定資産	170	181
投資その他の資産	2,757	2,572
資産合計	22,204	25,086
<b>(負債の部)</b>		
流動負債	4,755	7,593
固定負債	458	399
負債合計	5,213	7,993
<b>(純資産の部)</b>		
株主資本	16,262	16,536
資本金	810	810
資本剰余金	111	111
利益剰余金	15,936	16,209
自己株式	△594	△594
その他の包括利益累計額	727	556
純資産合計	16,990	17,093
負債純資産合計	22,204	25,086

(注) 記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

電業社機械製作所 検索 詳細な情報につきましてはホームページをご覧ください。

連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当第2四半期(累計) 2017年4月1日から 2017年9月30日まで	前第2四半期(累計) 2016年4月1日から 2016年9月30日まで
売上高	5,483	6,144
売上原価	4,313	5,021
売上総利益	1,170	1,122
販売費及び一般管理費	1,417	1,418
営業損失(△)	△247	△295
営業外収益	95	83
受取利息	6	5
受取配当金	39	36
その他	49	41
営業外費用	25	22
投資有価証券評価損	8	-
その他	17	22
経常損失(△)	△177	△234
税金等調整前四半期純損失(△)	△177	△234
法人税等	△35	△52
四半期純損失(△)	△141	△181
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△141	△181

(注) 記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	当第2四半期(累計) 2017年4月1日から 2017年9月30日まで	前第2四半期(累計) 2016年4月1日から 2016年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,498	△437
投資活動によるキャッシュ・フロー	△247	△68
財務活動によるキャッシュ・フロー	△136	△134
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	△37
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,114	△678
現金及び現金同等物の期首残高	2,947	4,187
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,062	3,508

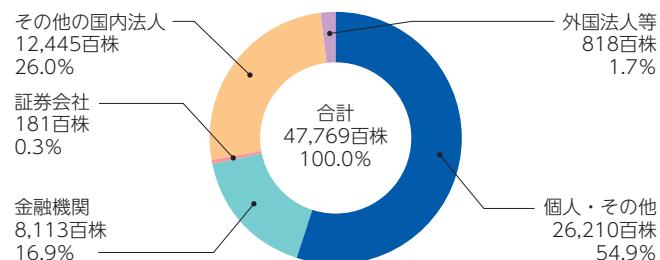
(注) 記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

株式の状況

発行可能株式総数	19,107,600株
発行済株式の総数	4,776,900株
株主数	3,223名

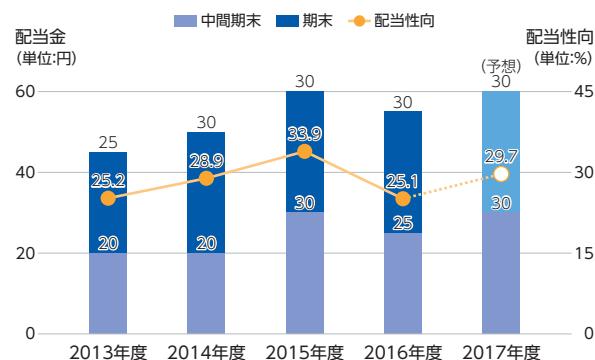
株主構成

所有者別持株比率



(注) 自己株式は「個人・その他」に含めて表記しています。

1 株当たり配当金／配当性向



(注) 2015年度中間期末配当金の内訳 普通配当20円、記念配当10円

会社概要

商号	株式会社 電業社機械製作所 (DMW CORPORATION)	
所在地	東京都大田区大森北一丁目5番1号 〒143-8558 TEL 03(3298)5115	
資本金	810,000千円	
グループ従業員数	603名 (うち契約社員87名、パートタイマー34名)	

取締役、執行役員及び監査役

代表取締役社長 最高執行役員社長	土屋 忠 博
取締役 常務執行役員	彦坂 典 男
取締役 常務執行役員	村林 秀 晃
取締役 上席執行役員	稲垣 晃
社外取締役	杉山 博 司
社外取締役	上地 崇 夫
上席執行役員	浜田 耕 一
執行役員	青山 匡 志
執行役員	原 広 志
常勤監査役	塩崎 孝
社外監査役	住田 知 正
社外監査役	多田 修

大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社GM INVESTMENTS	506	11.52
電業社取引先持株会	211	4.79
三井住友海上火災保険株式会社	202	4.60
明治安田生命保険相互会社	175	3.99
株式会社鶴見製作所	130	2.96
株式会社明電舎	127	2.89
一般財団法人生産技術研究奨励会	120	2.72
株式会社三菱東京UFJ銀行	104	2.37
水道機工株式会社	70	1.60
日本生命保険相互会社	62	1.40

(注) 1. 当社は、自己株式 (372千株) を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。  
2. 持株比率は発行済株式の総数から自己株式数を控除して計算しております。

株価の推移



ネットワーク

海外ネットワーク

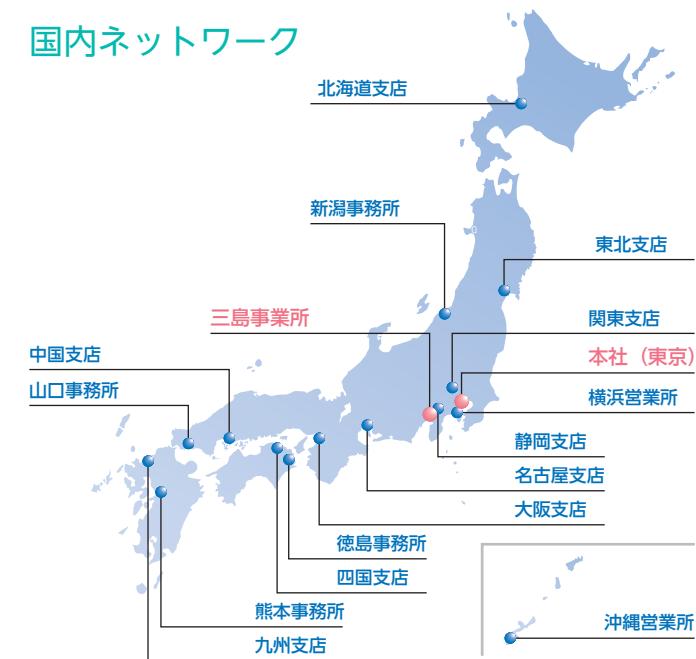
海外拠点

- ・アブダビ支店 (アラブ首長国連邦)
- ・シンガポール支店
- ・大連事務所 (中国)
- ・米国拠点 (ヒューストン IPS社)

海外子会社

- ・DMWインド社 (インド ムンバイ、プネ)

国内ネットワーク



国内子会社

- ・株式会社エコアドバンス (静岡県三島市)
- ・電業社工事株式会社 (静岡県三島市)

## 株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 期末配当金受領株主確定日 毎年3月31日
- 中間配当金受領株主確定日 毎年9月30日
- 定時株主総会 毎年6月開催
- 株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
東京都府中市日鋼町1-1  
電話 0120-232-711 (通話料無料)  
郵送先 〒137-8081  
新東京郵便局私書箱第29号  
三菱UFJ信託銀行株式会社  
証券代行部
- 上場証券取引所 東京証券取引所
- 公告の方法 電子公告により行う  
公告掲載ホームページ  
<http://www.dmw.co.jp/>  
(ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(各種手続き先)

1. 株式に関する各種手続き(住所・氏名の変更、配当金振込口座の指定・変更、単元未満株式の買取請求等)につきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできません。
2. 株券電子化に伴う証券会社等の口座への振替手続きがお済みでない株式(特別口座に記録された株式)に関する各種手続きにつきましては、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
3. 銀行取扱い期間終了後の未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## ホームページのご案内

最新のIR情報につきましては、当社のホームページ「IR情報」をご参照ください。

当社ホームページ <http://www.dmw.co.jp/>



表紙の写真：燃料移送用高压多段ポンプ

 株式会社 電業社機械製作所

〒143-8558 東京都大田区大森北一丁目5番1号  
TEL(03)3298-5115(代表)



森林に配慮して適切に管理された森林認証紙を使用しています。



環境に配慮した植物インキを使用しています。